

(様式4)
令和7年3月10日

令和6年度 第3回 大阪市立難波元町小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立難波元町小学校

校園長名 剣持 明広

日 時		令和7年3月7日（金） 18:00～19:30	
場 所		難波元町小学校 会議室	
出席者	委員など	柏村貴一郎（会長） 木村 次郎（委員） 井本 美佐子（委員） 位上 剛史（委員） 榮村 彰人（委員） 小寺 ゆき（委員） 三浦 竜也（委員） 白石 宏樹（委員）	
	校園	剣持 明広（校長） 高須賀 栄作（教頭） 高本 宜慶（教務主任）	
	区役所	高橋 貴志子（教育・学習支援担当係長）	
議題		1. 会長あいさつ（会長） 2. 区役所からのお知らせ（教育・学習支援担当） 3. 校長あいさつ 4. 令和6年度運営に関する計画最終評価について（教頭） 5. その他 ・質疑応答など	
協議要旨		協議の内容	
		(1) ○資料をもとに令和6年度の運営に関する計画最終評価について説明を行った。 【安全・安心な教育の推進】	（学） 現在までの取組内容、目標達成状況、進捗状況、次年度への改善点を順に説明。 （委） 不登校児童について長らく登校できていない子どもはいるのか。 （学） 不登校としている子どもはいるが、保護者とも連携を取りつつ登校ができるようになった児童もいる。 （委） 登校できるようになったきっかけはなにか。 （学） 中学進学に向けて、保護者の考えが変わり、子どもの背中を押してくれたことが大きい。

		<p>(委) 日本語指導が必要な児童に対する人手不足の報告があったが、今後は改善していくような取組があるのか。</p> <p>(学) 1年生から3年生までの日本語指導と4年から6年までの指導があるが、どちらも日本語を定着させるまでの時数は足りない。区役所からの予算でサポーターの方には来てもらっているが、今後も外国からの転入が増加していくとみられる。</p>
	【未来を切り拓く学力・体力の向上】	<p>(委) 日本語指導が必要な子ども達には、簡単な日常会話が必要だと思う。もっとボランティアの方の数が増えるように区役所で考えられないか。</p> <p>(区) 有償ボランティアは派遣できているが、無償になると希望者が集まらない。</p> <p>(委) 個に応じた指導とはどのようなものか。</p> <p>(学) いろいろなケースが考えられるが、課題を分け、子どもの習熟状況に応じた学習を心掛けている。</p>
	【学びを支える教育環境の充実】	<p>(委) タブレット端末と以前のような紙媒体が中心の時を比較して、今後はどのようなになっていき、どのようにしていけばよいのかを次の課題として考えていってほしい。</p> <p>(学) 学習の進め方では、本で調べる子、インターネットで調べる子とさまざまな方法で行っている。毎時間というよりかは、1日の中のどこかで使用する。タブレット端末を特別な端末として取扱うのではなく、文房具の一つとして、自分が使いたい時に使えるようにしていきたい。</p> <p>(委) タブレット端末を持ち帰り、家でゲームのような事をしているようだが、規制はできないのか。</p>

		(学) 制限がかかっている部分はたくさんある。本体内のソフトでプログラミングができるものがあるので、自分でゲームを作っている場合はある。持ち帰りのルールについては、学校の方でも指導していく。
	(2)	○その他（質疑応答を含む） 前回の学校協議会の件を受けて、運営要項に追加を行った。
		○協議会案件について全会一致で承認された。
協議資料	1. 令和6度運営に関する計画最終評価（学校） 2. 学校協議会運営要項（案）	
備考	傍聴者[0]名	